

令和6年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市寺ヶ池公園

指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。		
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。		
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	S
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	B
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。		
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	-	
	自主事業収入	720,000	87,713	632,287	-	
	物品販売収入	0	0	0	-	
	手数料収入	0	0	0	-	
	指定管理料	59,940,000	59,940,000	0	-	
	その他収入	166,320	792,305	-625,985	-	
	収入総額	60,826,320	60,820,018	6,302	-	
支出	人件費	24,867,036	23,844,842	1,022,194	-	
	事務費	2,733,500	4,749,035	-2,015,535	-	
	管理費	23,480,004	23,053,981	426,023	-	
	自主事業経費	820,880	986,901	-166,021	-	
	光熱水費	3,960,000	3,937,195	22,805	-	
	リース料	528,000	1,530,891	-1,002,891	-	
	その他	4,371,461	4,358,395	13,066	-	
	支出総額	60,760,881	62,461,240	(1,700,359)	-	
収支差額	65,439	(1,641,222)	1,706,661			

3. 総合評価

自己評価

指定管理運営初年度は、作業スタッフが少なかったこともあり、植栽管理の大半を外部委託とし、季節ごとに発生する作業を場所ごとに見極めることに注力した。

その結果、管理方法や手入れを行うべき時期が異なる植栽が多いことが判明したため、次年度以降は直営での管理が難しい箇所については委託業者と協議しつつ適切な植栽管理を行うよう努める。

賑わい創出については、子どもの来園者数の増加および満足度向上に主に取り組んだ。

近隣の市民広場がなくなった影響もあり、来園する子どもの数は増加している。

イベントの開催については、昨年までとは異なり、“手作り感”を排除したが、それにより一部の市民や出店者に戸惑いも見られた。そのため、来場者層に応じてイベント内容を工夫するなど、次年度は柔軟な対応を図っていく。

市評価

公園の維持管理に関して、指定管理業務の初年度ということもあり、当初は寺ヶ池公園内の植栽配置状況や各樹木の健康状態の把握に苦慮されていたが、定期的に園内を点検し、落下の恐れのある枝の処理や、害虫の被害に遭った高木の伐採を実施することで公園内の安全の確保を行ったことについても評価する。また、利用者から寄せられた意見や通報に対し、対応案や対応方針を市に報告、相談することによって、より適切且つ迅速に対応できていた点を高く評価する。

植栽管理に関しては、季節や樹種に合わせた適切な剪定等を実施し、園内における「みどり」の多様な機能や効用の向上に寄与いただくことを期待する。

公園内におけるイベントの開催に関しては、独自のノウハウを活かし、令和5年度まで公園内で実施していたプログラムは残しつつ、キッチンカーの誘致等新しい雰囲気イベントを開催することで、にぎわいの創出に寄与いただいた点を評価する。その中でも、多くの方々から要望のあったイルミネーションの継続を実現いただいたことで利用者の満足度向上に寄与した点を評価する。今後はさらに多くの市民団体とも積極的に交流を図り、連携しつつイベントの開催に取り組み、更に市民サービスの向上を図っていただくよう期待する。